

## H28年度 学校教育自己診断アンケート結果と分析

**[学校に対する意識]** すべての「学校に対する意識に関する項目」のうち肯定的回答の平均値

CS生徒*73.4%	ES生徒*69.9%
CS保護者*66.9%	ES保護者*76.9%

○(3)箕面東への入学が希望通りである CS生徒…肯定的 77.3% ES生徒…肯定的 81.8%

○(4)学校生活は楽しい CS生徒…肯定的 51.6% ES生徒…肯定的 52.6%

(こんなものだと思うCS30.9% ES26.0%は含まず)

(保護者2・3) CS保護者…肯定的 59.3% ES保護者…肯定的 75.0%

○(5)友人関係について CS生徒…肯定的 86.5% ES生徒…肯定的 91.2%

○(20)現在選んでいるワールド科目について(満足度) CS生徒…肯定的 81.2%

(20)現在選んでいる選択科目について(満足度) ES生徒…肯定的 78.1%

○(29)ワールド科目全体について(力や個性の伸長) CS生徒…肯定的 78.6%

(29)エンパワ選択科目について(力や個性の伸長) ES生徒…肯定的 69.8%

○(35)自分の後輩や将来の子供に対して箕面東に行かせたい。保護者40知人の子供に勧めたい。

CS生徒…肯定的 65.4% ES生徒…肯定的 45.9%

CS保護者…肯定的 58.3% ES保護者…肯定的 64.2%

→本校へは、ほぼ希望通り、または納得して入学しているが、ESで4.0%、CSで6.0%の生徒が不本意入学であったと回答している。成績的に希望していたところへ行けなかったという生徒もいるであろうが、納得して本校へ入学できるような魅力づくりと情報発信が必要。

→友人関係はおおむね良好であるが、学校生活について、あまり楽しいとは感じていない。ESの保護者は、おおむね楽しく通っているととらえている。学校生活の楽しさについて、否定的な生徒の評価がCSでは17.5%、ESで21.4%ある。

→ESの選択科目に対する肯定的な評価が低い。人数制限などがあって、あまり自由に選べなかったとの回答が9.6%あり、CSの同回答3.5%より大きく増えている。自分の興味・関心・進路に合わせて自分の時間割を組むことのできる総合学科としての魅力を、学びなおしで力を引き出すエンパワメントスクールの中に位置づけることができないだろうか。

→箕面東を後輩や子供、知人に勧めたいの項目では、特にES生徒の肯定的意見が低い。前述の「学校が楽しい」「選択科目の満足度」と、これからの進路実績等で本校の魅力をどう作り出していくのかが課題である。

**[生徒指導]** すべての「生徒指導に関する項目」のうち肯定的回答の平均値

CS生徒*67.7%	ES生徒*62.8%
CS保護者*78.2%	ES保護者*83.4%

○(32)頭髪指導 CS生徒…肯定的 59.7% ES生徒…肯定的 45.5%

○(33)ピアス・化粧 CS生徒…肯定的 58.1% ES生徒…肯定的 52.0%

○(34)遅刻指導 CS生徒…肯定的 69.1% ES生徒…肯定的 65.4%

○(42)私は学校のルールを守っている CS生徒…肯定的 84.0% ES生徒…肯定的 84.4%

○(6)信頼できる先生 CS生徒…肯定的 38.0% ES生徒…肯定的 38.8%

○(7)先生とのコミュニケーション CS生徒…肯定的 75.2% ES生徒…肯定的 74.6%

○(8)先生は気持ちをわかってくれる CS生徒…肯定的 54.1% ES生徒…肯定的 54.2%

→生徒指導に関しては、CS、ESとも保護者の肯定的意見の割合が高い。

→それぞれの具体的項目の生徒の肯定的意見の割合が低いのは、学校として厳しく迫っている表れであり、その点を保護者は高く評価しているのではないかと。また、生徒の多くは学校のルールを守っていると考えており、言い換えると、学校のルールは守るべきものという意識は定着していると考えられる。ただ、保護者の中にも指導に対して理解を得られず、指導が難しい場面もある。生徒にも保護者にも、指導の趣旨と目的について丁寧に説明して理解を得る努力を続けていきたい。

→「先生とのコミュニケーション」は一定とれているが、「気持ちをわかってくれる」の値はあまり高くなく、また、「信頼できる先生」の値は低い。生徒への働きかけが有効になるように、チームとしての生徒指導に取り組み、生徒が話しやすい環境づくりと情報の共有化ができる体制を。

**[学習指導等]** すべての「学習指導に関する項目」のうち肯定的回答の平均値

C S 生徒 * 77.6%	E S 生徒 * 73.2%
C S 保護者 * 69.0%	E S 保護者 * 69.2%

- (9)わかりやすい授業 C S 生徒…肯定的 67.8% E S 生徒…肯定的 62.7%  
C S 保護者…肯定的 39.1% E S 保護者…64.7%
- (10)~(19) 学習内容の理解 C S 生徒…肯定的 60.8%(数学)~82.5%(体育)  
国語 71.7% 数学 60.8% 英語 66.2%  
E S 生徒…肯定的 57.2%(理科・S T 理科)~91.3%(家庭)  
国語・ST 国語 69.4% (1年 67.1% 2年 71.7%)  
数学・ST 数学 61.9% (1年 75.8% 2年 47.8%)  
英語・ST 英語 65.9% (1年 61.6% 2年 70.3%)
- (22)家庭学習 全くしない C S 生徒…67.3% E S 生徒…72.6%
- (23)考查期間中の家庭学習 全くしない C S 生徒…22.3% E S 生徒…21.8%
- 教員 13 問題解決的な学習指導 教員…肯定的 65.5% (昨年 70.0% 一昨年 37.7%)
- 教員 14,15 参加体験型学習、グループ学習など学習形態の工夫改善  
教員…肯定的 90.0% (昨年 89.2% 一昨年 72.2%)
- 33 読書指導 教員…肯定的 9.1%

→「わかりやすい授業」について、生徒、保護者ともあまり高くなく教員の工夫が求められる。一方、「参加体験型やグループ学習等の工夫改善」の教師の意識は一昨年より大きく伸びており、昨年度のアクティブラーニングの研修や研究授業の研究協議会、相互授業見学等に取り組んだ成果と考えられ、これからの期待がもたれる。

→問題解決型の学習指導についての教員の意識も、エンパワ選択科目として定着してきている。

→「学習内容の理解」では、E Sでは「S T 数学」の値が高く、モジュール授業の成果が出ている。

→「家庭学習」は7割程度の生徒が全くせず、この部分の改善ができれば、もっと生徒全体の学力が伸びるであろう。宿題を課す等の工夫や、S Jの取り組みに見られるように、学校で放課後に学習する習慣をつけることで、学力の伸長を図る効果が期待できる。

→「読書指導」の値は低く、今後の取り組みの課題である。

**[進路指導]** すべての「進路指導に関する項目」のうち肯定的回答の平均値

C S 生徒 * 76.1%	E S 生徒 * 76.8%	
C S 保護者 * 75.6%	E S 保護者 * 66.4%	教員 * 85.0%

- (28)キャリアガイダンス C S 生徒…肯定的 69.8% E S 生徒…肯定的 81.1%  
教員…肯定的 85.5%(教員 26 系統的なキャリア教育)

→進路指導に関する項目の平均については、生徒の評価に対して、E S保護者の値の低さを感じられる。生徒に対する指導や生徒に伝えている情報が、保護者まで伝わっていないのではないかと。通信やホームページ（ブログ）、メールマガジン等で、生徒の取り組みをもっと保護者に発信し、アピールしていきたい。

→キャリアガイダンスについてE Sの値が高い。早い段階での進路への意識が、E Sの学びのモチベーションにつながることを期待したい。

→保護者のアンケート回収率は、CS18.5%、ES37.6%。また、その中でも「⑤よくわからない」への回答率の平均が、CS30.2%、ES22.2%であり、生徒や学校への関心がやや低く感じられる。もう少し生徒や学校への関心を持っていただき、学校と保護者双方からの働きかけで生徒の成長を見守っていきたい。